導入実績 ＊全社契約ユーザ

海外実績

政府関係

US Department of Energy
US Department of Justice
NASA
LAFD, LAPD
Center for Disease Control
Canadian Goverment-PWGSC

金融関係

AG Edwards
Bank of America
FM Global
Farmer's Insurance
Washington Mutual Bank*

その他

AT&T Wireless*
Boeing*
Cisco Systems*
UNISYS
Hewlett-Packard
AOL/Time Warner
IBM
Sun Microsystems
Starbucks,Inc. +
Dreams Works SKG*
Fox Studios*
Walt Disney Studios*
Warner Bros. Studios*
AMGEN

国内実績

財務省、国税局、財務局
国土交通省
名古屋市役所
武蔵村山市役所
一宮市役所
トヨタ自動車
三菱電機
NTTドコモ、NTTデータ、NTT東西
日本地震再保険
ロート製薬
NEC
富士通
TDK
NHK
米国大使館
ビック東海

2,000社以上の導入実績
(敬称略)

設置作業例

製品仕様

品番･形式	IBP1036 10.75×36inch Seismic Isolation Plank	IBP1039 10.75×39inch Seismic Isolation Plank	IBP1042 10.75×42inch Seismic Isolation Plank	IBP1045 10.75×45inch Seismic Isolation Plank	IBP1048 10.75×48inch Seismic Isolation Plank	IBP1060 10.75×60inch Seismic Isolation Plank
幅	273mm	273mm	273mm	273mm	273mm	273mm
奥行	914mm	991mm	1067mm	1143mm	1219mm	1524mm
高さ	78mm	78mm	78mm	78mm	78mm	78mm
重量	25.97kg	27.67kg	29.03kg	30.28kg	30.84kg	36.20kg

各サイズのワイドタイプ(幅324mm)　※重量にはコネクターバーは、含まれていません。

※ISO-Baseは、米国WorkSafe Technologies社の登録商標又は商標です。※日本国特許 NO.3467513 ※USA Patent NO.5,599,106 ※カナダ Patent NO.1,143,408
※ISO-Baseは、地震発生時の物理的リスク軽減を目的とした免震装置であり、ISO-Base上に搭載された機器へのダメージゼロの環境を提供するものではありません。
※中越地震や東日本大震災並みの地震では、ボールベアリングを外して、転倒防止版として機能する場合もあります。
また、同規模の地震後、ボールベアリングの位置修正や製品の交換を要する場合もあります。
※荷重点がボールベアリングの直上にあれば、1ブランクあたりの搭載荷重は、900Kgまでです。
荷重点がボールベアリングの直上になければ、1ブランクあたりの搭載荷重は、680Kgまでです。1.5倍の搭載荷重を受ける3皿モデルもあります。
※可動範囲350mm/搭載荷重1,800Kg仕様の上位モデルISO-Base-X2もあります。

●お問い合わせは

※本カタログに記載の会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。本カタログに記載の仕様については、予告なしに変更することがあります。<2022.04現在>

伊藤忠テクノソリューションズグループ
CTC SP
CTCエスピー株式会社
本　社：〒105-6909東京都港区虎ノ門4-1-1神谷町トラストタワー
・名古屋：TEL. 052-588-4030
・大　阪：TEL. 06-6439-8860
・福　岡：TEL. 092-415-4560
http://www.ctc-g.co.jp/~ctcsp/
sp-admin@ctc-g.co.jp

国内販売代理店

開発･製造元

WorkSafe TECHNOLOGIES

WorkSafe TECHNOLOGIES

伊藤忠テクノソリューションズグループ
CTC SP

免震プラットフォーム

ISO-Base™

Seismic Isolation Platform

地震対策のデファクトスタンダード

CTCエスピー株式会社

IT心臓部を地震から守る。

全世界で126,000システム以上の納入実績を持つデファクトスタンダード

阪神・淡路大震災以来、十勝沖地震、中越地震、東日本大震災など大規模な地震が全国で相次ぎ、さらにここにきて、
関東周辺でもその予兆ともとれる地震が頻発しています。
地震国ニッポンでビジネスを展開するには、これまで以上に地震対策に万全を期す必要があります。
CTCSPのビジネスコンティニュイティ・ソリューションの一つ「ISO-Base」は、こうした自然災害に対処するための免震プラットフォームです。
サーバラックの下に「ISO-Base」を設置することにより、地震の揺れや衝撃を最小限に抑えます。

2001年2月28日
Nisqually 地震後のBoeing 社内の状況
（M6.8　日本震度6弱と推測）
出展：Boeing Frontiers Online

特 長

システムをシャットダウンすることなく短時間で設置可能。

「ISO-Base」を床に置き、機器を載せるだけでOK。従来方式のようなボルトやアンカーでの床への固定はありません。システムを止めることなく容易に設置できます。

米国、日本、カナダで特許取得。全世界で126,000システム以上の納入実績。

AT&TワイヤレスやNTT/Verioなどのデータセンター標準仕様として採用。ボーイング、シスコシステムズ、HP、IBMなど米国企業はもちろんカナダ政府、日本国内官公庁など全世界に126,000システム以上を納入しています。

規模が大きくなればなるほど顕著なコストパフォーマンス。

導入コストも、ランニングコストも驚くほどのコストパフォーマンス。配線工事も自由でラックの数が増えれば増えるほどコストパフォーマンスが飛躍的に向上します。

オフィシャル規格の要求基準を上回る高耐震性。

カナダ政府、アメリカエネルギー省のUBS/IBC地震ゾーン4※（Telcordia社=旧Bellcore社によるNEBS認定）の要求基準を上回ります。X-Y-Z 3次元タイプの免震装置です。また、2011年の東日本大震災や2004年の中越・福岡の地震でも耐震性が実証されています。（当社調べ）

※地震学者リヒターのスケール（Richiter Scale）で、マグニチュード7.0～8.3に相当します。
阪神・淡路大震災の規模はマグニチュード7.2です。
東日本大震災の規模はマグニチュード9.0です。

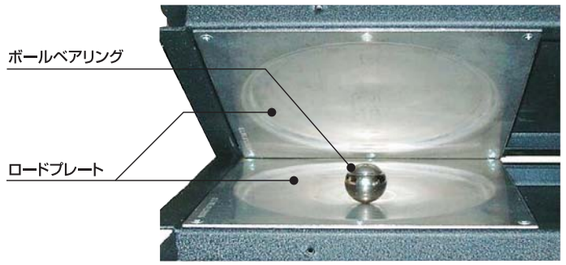
耐久性に優れ、増設、レイアウト変更も容易。

スチール製ボールベアリングと上下のロードプレートを組み合わせただけの極めてシンプルなオープンフレーム構造。メンテナンスフリーに限りなく近く、また、ブランク単位で増設も容易、レイアウト変更も自由に行えます。

幅広い地震対策ニーズに対応。

メインフレーム、サーバラック、ディスクシステムをはじめとする情報機器関連はもちろん、各種実験器具、精密機器あるいは貴重な装置・設備類の保護にも最適です。

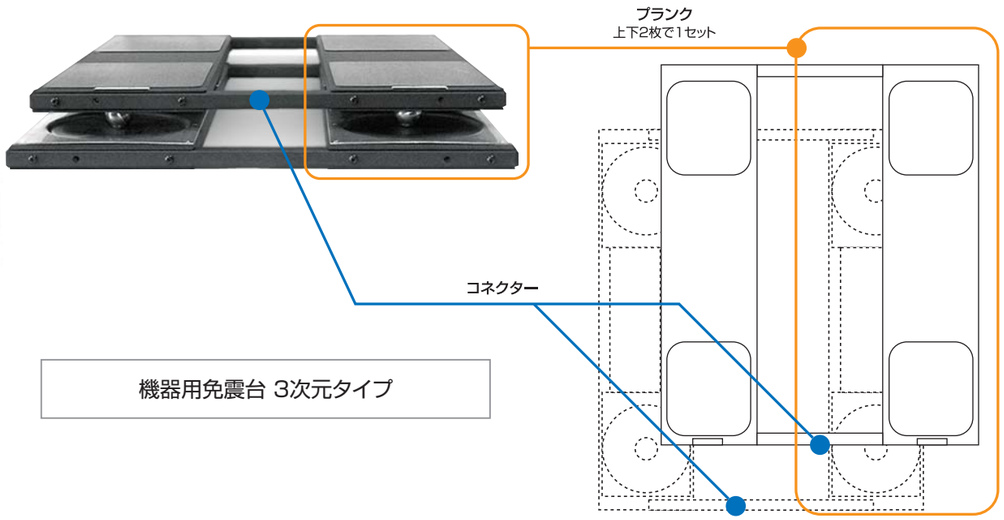
「ISO-Base™」の技術としくみ



ISO-Baseの中心部は、スチール製ボールベアリングをそれに合わせた円錐状の二枚のロードプレートではさんだBall-N-Cone 免震ベアリング（特許取得済み）です。

この独自のデザインにより、プラットフォームはあらゆる方向から入力地動速度を受け入れながら、滑らかでかつ水平な横運動をすることが出来ます。

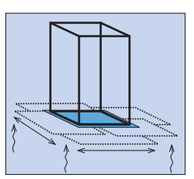
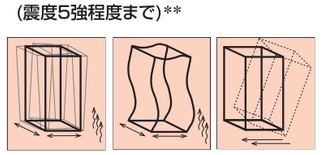
ベアリングは、揺れの強度が弱まるに連れ 重力を復元力として自己復帰します。



機器用免震台 3次元タイプ

■ 概 略 図 ■

「ISO-Base™」と耐震固定方式との比較

	メリット	デメリット
ISO-Base™ **免震方式**（震度7の領域まで）* 	●地震に対して効果的な技術。 ●設置に関して壁、床等との固定は不要。 ●3次元の地震動にも対応可能 ●機器のレイアウト移動時に、プラットフォームの再利用が可能。 ●機器が稼動中でも設置が可能。 ●ISO-Base™の原理が橋等の建築技術に利用されている。米国では最も信頼された技術。	●耐震固定方式よりも初期導入費が多少高い。 ●島毎に可動スペースを210mm周囲に必要。
耐震固定方式 （震度5強程度まで）** 	●架台はどの作業業者でも入手可能。 ●可動スペースを考える事無く設置可能。	●床や壁などに固定する必要がある。（そのため、地震の衝撃により床自体が破損する危険が生じる） ●機器レイアウト移動時に、再利用が不可能。 ●固定する為、地震の衝撃に耐えられず、ディスクが破損する危険性が高い。

*ISO-Base限界試験最大1600gal（単軸）【新潟県中越地震において推測2500Galの実績】　**大手コンピュータメーカー資料による